

第3期 第4回 向日市子ども・子育て会議

○日 時 令和元年10月29日(火) 午後1時30分～午後3時

○場 所 向日市福祉会館 大会議室

○出席者 (出席委員14名)

安藤和彦委員(会長)、今福友恵委員(代理:小寺恵里様)、井上裕之委員、風谷千賀子委員、加原ゆり委員、川村宗己委員、高山紀公子委員、田中久美子委員、田部千夏委員、福井千津委員、松下有紀委員、宮地健一委員、余根田聡委員、和田泰徳委員
(50音順)

(事務局11人)

【市民サービス部】

水上市民サービス部長、川本市民サービス部副部長、長谷川和代障がい者支援課長、柴田健康推進課長、長谷川琢子育て支援課長、荒賀子育て支援係長、中川子育て支援課主査

【教育部】

小賀野教育部長、鹿島生涯学習課長、野田学校教育課担当課長

【株式会社 名豊】

池上 真一

○欠席者 (委員6人)

北口勝也委員、築山剛委員、辻千佳委員、津田陽委員、花安肇委員、藤井一郎委員
(50音順)

○傍聴者 なし

○議 題 (1) 向日市子ども・子育て支援事業計画の骨子案について
(2) 教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の量の見込の算出について

(議 事 内 容)

議題1 第2期向日市子ども・子育て支援事業計画の骨子案について	
事務局	資料1、2を用いて、第2期向日市子ども・子育て支援事業計画の骨

	<p>子案について説明</p> <p>(計画の骨子案についての主な質疑・意見)</p> <p>療育環境が向日市には足りない。そういった子たち、親を支援する体制が足りていない。また、民間の療育施設、放課後デイサービスの質の担保はどこがやっているのか。資質向上を図る場所がない。</p> <p>向日が丘支援学校が改築されるので、2市1町の拠点として療育環境を変えていけば良い。障害と教育の問題を別枠で考えてはいけない。発達障害の子どもを持つ親の支援を考えることが虐待防止につながる。</p> <p>親が模倣できる状況がなく、経験ができない。サービスを与えるのではなく、経験を与えたり、教えるような機能を子育て支援センターに持たす必要がある。</p> <p>不妊治療から支援しているので、母子手帳をもらってからではなく、もう少し前からしていただきたい。流産になったら精神的な負担も大きいので相談体制もあつたら良いと思う。</p> <p>定期健診の見直しをしてほしい。1歳8か月の子どもにハサミも危なくて見せていなかった。見せたこともないものを、指差しができないと言われてショックが大きかった。実際の家庭での生活と健診の内容に差があると思った。</p> <p>親のサポート体制として、幼稚園の先生が適任だと思う。教育者として子どもにも指導するし、親に対しても指導する人が多い。</p> <p>多動な子がいたら制止をして型にはめることが療育なのか。泣きながら宿題をさせることが療育なのか。</p> <p>様々な事業所が運営しているので質の担保を行わないと怖い。何も資格を持っていない施設もあれば、小学生の先生、保育士、臨床心理士をそろえている施設もある。</p> <p>向日市がどのような状況に置かれていて、解決しないといけないものは何があるのか。解決するための施策、10年くらいをスパンとしてみた時に何があるのか議論したい。</p> <p>国の示したものをそのまま記述するのではなく、次代の政策をはめていくことは当然。</p>
委員	

<p>事務局</p> <p>委員</p> <p>委員</p>	<p>圏域の児童発達支援の事業所の数は増えているが、それ以上に療育、発達障害の子どもが増えている。質的に差があることの認識はある。施設によって特色、得意分野もある。</p> <p>最低限の基準が守れば、開設は可能となっている。他業種からの開設も増えており、過渡期なのかと思っている。</p> <p>向日が丘支援学校の建て替えは府がする事業ではあるが、大きなチャンスなので、より良いものを作っていけるよう働きかけたい。</p> <p>この計画が、向日市の魅力につながるというのであれば、防災を一番に上げておいてくれると子育てに響くと思う。学校での訓練など、ベルが鳴りましただけでなく、公衆電話の使い方など、もう少し市民レベルに落とし込んだものがあれば良いと思う。</p> <p>子どもの安全を念頭に置きながら、情報の発信の場所がない。情報提供して人に安心を与えたり、安全指示をするシステムが向日市では足りない。</p>
<p>議題2 教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の量の見込の算出について</p>	
<p>事務局</p> <p>会長</p> <p>事務局</p>	<p>資料3に基づき、議題2について説明</p> <p>(量の見込の算出についての主な質疑・意見)</p> <p>これらについての議論が次回データを出していただくのでその時に議論したいと思う。</p> <p>すぐに反映できるものと、そうでないものがある。いただいた意見についてはどのように盛り込んでいくかについては、次回の会議で素案として提示しますので、ご議論いただきたい。</p> <p>今後の計画策定スケジュールを説明。会議の日程については会長と調整し、委員へお知らせする。</p> <p>以 上</p>